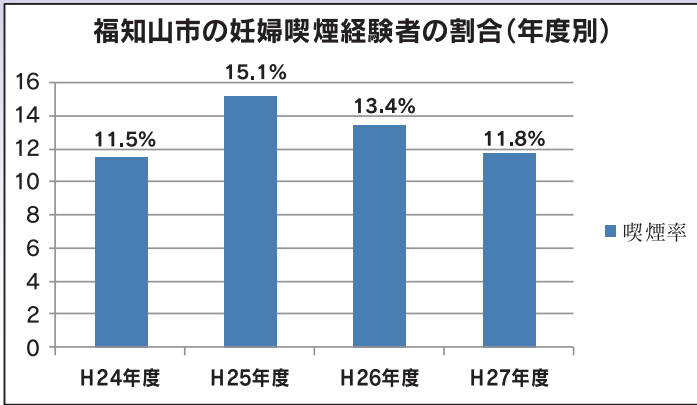




おかあさんタバコ吸わないで!



福知山市の平成27年度妊娠届出時の調査によると、**喫煙経験者の割合は、11.8%**でした。

これは、福知山市の妊婦さんの約10人に1人が喫煙を経験していることとなります。

参考)

妊娠中の妊婦喫煙率 5.0%(全国)

(平成22年乳幼児身体発育調査より)



赤ちゃんタバコ

妊娠中の喫煙は、早産や流産、死産の危険性を高めます!



タバコの煙の中には、多くの有害物質が含まれています。

特にニコチンや一酸化炭素は、栄養や酸素の運搬効率を悪くして、胎児が栄養不足や酸欠状態になり、悪い影響を与えます。

タバコの三大有害物質

ニコチン

依存症を引き起こします。血管を収縮させ、血液の流れを悪くします。

タール

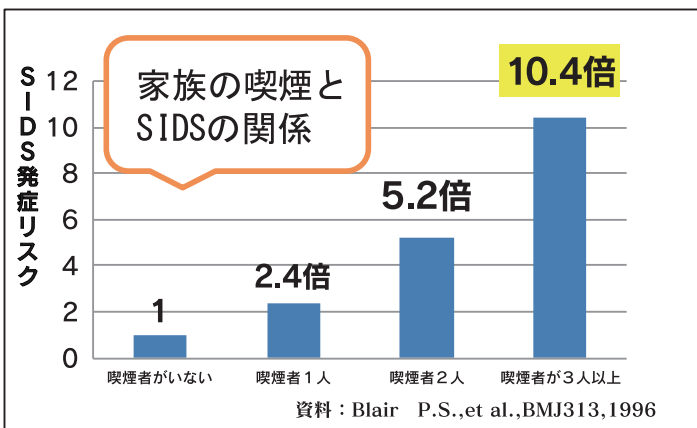
発がん性物質を含んでおり、がんを発生しやすくします。

一酸化炭素

体を酸素欠乏状態にして、動脈硬化や心臓病を起こしやすくします。

発がん物質(70種類以上)、有害物質(200種類以上)が入っています。たとえば、防腐剤(ホルマリン)、殺虫剤(ヒ素)、漂白剤(ダイオキシン)が入っています。その他にも、強力な農薬(カドミウム)やネズミ殺し(シアン)なども使っています。

受動喫煙はSIDSの重大な原因です!



それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう**乳幼児突然死症候群(SIDS)**という病気があります。

このSIDSの発症にはタバコが大きく関わっているといわれ、両親が喫煙者の場合、その発症率が一段と高くなることがわかっています。

その他にも、乳幼児の病気(肺炎、気管支喘息、中耳炎等)のリスクがあります。

禁煙も立派な育児です。

赤ちゃんの誤飲事故にも注意!(原因の第1位はタバコ)
タバコ1本のニコチン含有量は、乳幼児の致死量に匹敵します!